

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		小計	合計		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専攻科目	(1) 導入科目	法律学習の基礎 基礎演習 2	法学概論 2							6	96	
	(2) 基本科目		国際法 4	国際人権法 2 International Law 2	国際私法 I (総論・家族法) 4 国際私法 II (財産法) 2	国際環境法 2 国際取引法 2 国際組織法 2	国際私法 I (総論・家族法) 4 国際私法 II (財産法) 2	国際私法 I (総論・家族法) 4 国際私法 II (財産法) 2		26		
	(3) 発展科目			国際開発論 2 海洋法 2	Advanced International Law 2 国際商事仲裁 2	宇宙法 2 国際紛争解決法 EUI法 2	国際知的財産法 2 国際民事手続法 2			18		
	(4) 法律科目		憲法 I (総論・統治機構) 4 民法 (総則) 4	憲法 II (基本的人権) 4 刑法 I (総論) 4	経済法 2	知的財産法 (概論) 2 行政法総論 2	国際知的財産法 2 国際民事手続法 2	法哲学 I 2 法哲学 II 2		28		
	(5) 演習・実務関連科目	英書講読 I 2	英書講読 II 2	専門演習 I 2	専門演習 II 2	専門演習 II 2	専門演習 III 2			18		
共通科目	ライフデザイン	◎キリスト教 I 2			◎キリスト教 II 2					4	28	
	基幹科目	◎英語 I 1 ◎英語 II 1	◎英語 III 1 ◎英語 IV 1									12
		リテラシー	外国語4単位									
	教養科目	人文科学	4単位分を選択									4
		社会科学	4単位分を選択									4
自然科学		4単位分を選択								4		
超域科学										0		
年次別履修単位数			40		40		34		10	124	124	

※◎は必修科目を表す。

※毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間割を参照の上、履修計画を立てること。

※卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。

※共通科目基幹科目のうち、必修英語4単位以外の外国語については、各自で卒業要件を確認すること。

※共通科目教養科目の超域科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない（卒業所要単位数には算入される）。

科目区分	1年次		2年次		3年次		4年次		小計	合計		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期				
専攻科目	(1) 導入科目	法律学習の基礎 基礎演習 2	法学概論 2							6	96	
	(2) 基本科目		国際法 4	国際人権法 2 政治学原論 I 2 政治学原論 II 2	日本政治論 2 政治学原論 I 2 政治学原論 II 2	社会科学総合講座 2 政治理論 2	比較政治学 2 国際政治学 2	国際政治学 4		26		
	(3) 発展科目				国際関係史 4	政治思想史 2 外国法政 I 2 地域研究 I 2	地方自治論 2 現代政治思想 2 地域研究 II 2	行政学 2 地域研究 III 2		20		
	(4) 法律科目		憲法 I (総論・統治機構) 4 民法 (総則) 4	憲法 II (基本的人権) 4	行政法総論 4	行政救済法 4 刑事政策 2	地方自治と法 2	法社会学 I 2 法社会学 II 2		28		
	(5) 演習・実務関連科目	英書講読 I 2	英書講読 II 2	専門演習 I 2	Problem Solving Skills for Global Issues I 2	Problem Solving Skills for Global Issues II 2	専門演習 II 2	専門演習 III 2		16		
共通科目	ライフデザイン	◎キリスト教 I 2			◎キリスト教 II 2					4	28	
	基幹科目	◎英語 I 1 ◎英語 II 1	◎英語 III 1 ◎英語 IV 1									12
		リテラシー	外国語4単位									
	教養科目	人文科学	4単位分を選択									4
		社会科学	4単位分を選択									4
自然科学		4単位分を選択								4		
超域科学										0		
年次別履修単位数			40		40		30		14	124	124	

※◎は必修科目を表す。

※毎年度の開講科目の調整や各自の単位修得状況により、必ずしも本履修モデルとおりの履修が可能とは限らない。各自で卒業要件及び時間割を参照の上、履修計画を立てること。

※卒業に必要な科目の単位を修得できなかった場合は、翌年度以降に再履修すること。その際、各自で履修計画を再検討すること。

※共通科目基幹科目のうち、必修英語4単位以外の外国語については、各自で卒業要件を確認すること。

※共通科目教養科目の超域科学は、共通科目の卒業要件単位数には含まれない（卒業所要単位数には算入される）。